

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

続報 No.305

2021.08/01 (日曜) 14:00 発表

ハケ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

No.1778前兆 続報

前兆変動3観測装置に継続ステージ25が示した7月末に初現・極大認識

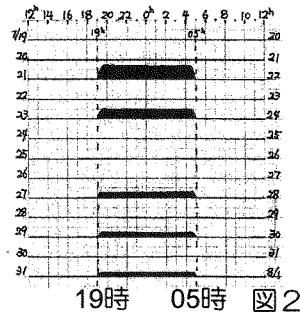
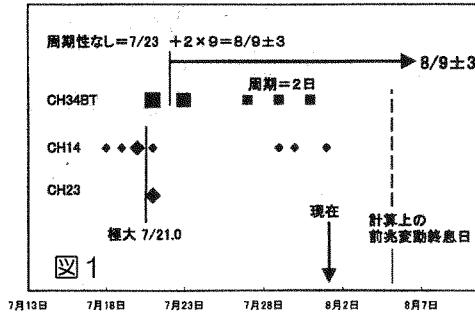
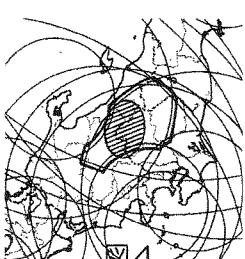


図2は7/21極大直後から出現したCH34のBTスケッチです。19時～翌日05時までの時間帯にBTが出現のため、図2は中心を深夜00時としてある。7/27以降は2日周期で出現。経験則では周期性のないピーク日に周期の6倍値または9倍値を加算すると発生日が算出される。今回は7/21夜からと24夜からのBTが極端に顕著で7/27以降の周期性に合わないため、例外的ではあるが極端に太いBTの中心7/23に対し、周期性2日の9倍値を加算。この場合は8月9日±が出る。また出現開始は18時、終息は05時で地震発生時刻はどちらかの時間帯前後となる可能性有。

BT変動で考察

No.1778長期継続前兆群の続報です。ステージ25の前兆変動から7/23±と7/27±が示唆されていました。これに対し、7/21にハケ岳のCH23に特異出現。直後からCH34に基線幅増大BTが出現しました。またCH29には顕著な特異変動が7/27から出現、7/31～8/1に非常に大きな変動を観測。現在CH14特異、CH34BT、CH29特異が継続出現しています。最終情報ではCH29の7/27の変動を極大認識し、終息の可能性として07月末発生の可能性を考えましたが、CH29の変動は継続し、さらに大きくなつたため、この認識は誤りでした。本当に申し訳ございません。ステージ25が示した時期にCH23の極大、CH29の初現が出現した可能性が考えられます。ステージ26突入認識です。CH29は良く判りません。仮に大きな変動の初現を7/27.2とし、今までの最大変動7/31.8を極大とした場合は8/9±3が計算されます。但し確度低い見解。判りやすいBTの変動をみると、CH23の極大直後から出現していることからBT-2と認識されます。BT-2は出現に周期性が認められ、周期性のないピーク日に周期の6倍値又は9倍値を加算すると発生日が算出される経験則があります。過去例では2週間程度BTが出現した場合にこの経験則が認められます。今回はまだ2週間継続しておりませんので不確定ではあります。但し7/27以降は見事に2日周期の出現が見えます。周期性のないピークは過去例では一日だけのBTですが、今回は顕著BTで周期性に合わない2日間の中心をとってみました。これも過去例とは異なりますので、確度は低いことになります。仮にこの認識の場合は図1解説のとおり、8/9±3の可能性が出ます。6倍値では8/4±となり、本日まだ前兆変動がでておりますので、調和しません。ちなみに周期性なしを7/21、周期性を2.5日としますと、9倍値で8/12±がでます。現状最も早い場合の発生時期を考えた場合は8/9±～12±の可能性が考えやすい。但し、8/12±とした場合、CH29は8/9終息推定となりますので、8/9までに発生なく8/10以降も前兆変動が継続の場合は発生はより先になります。その場合は前兆変動出現状況を鑑み続報します。またBTは日々の出現開始時刻又は終息時刻が揃い、そのどちらかの時間帯と地震発生時刻が1時間半程度内で調和する経験則があります。図3はNo.1778の2012年のBTですが、09時又は18時前後の可能性が見えます。今回のCH34では05時又は19時前後の可能性が見えます。夕刻の方が両者の差が小さいため、発生推定時刻についても修正します。



- ◆推定領域：図4太線内領域・斜線域参考
斜線域＝浅間山・白根山等火山近傍
- ◆推定規模：M8.0±0.3
M7クラス複合の可能性も若干有
- ◆推定時期：8月9日±3発生の可能性
または8月12日±3
但し、8/10以降も前兆継続の場合は9月等
- ◆推定地震種：震源浅い陸域地殻地震
- ◆推定発生時刻：午後06時30分±2時間
または（午前07時±3時間）

C) Copyright 2021 YSBO ハケ岳南麓天文台

本続報は8月1日午後2時に書きましたが、本ホームページ作成及び更新を行って下さっておりますのは、ボランティアのNさんです。本日Nさんは仕事の関係でアップロード更新が夜になるとのことです。続報更新が遅くなりますが、どうかお許し下さい。